

私立大学図書館協会 2022 年度第 2 回常任幹事会議事要録

日 時 2022 年 12 月 2 日 (金) 14 時 00 分 ~ 16 時 00 分
会 場 西南学院大学 Web 会議 Zoom
出席者 名簿のとおり

議事に先立ち、Web 会議システム (Zoom) の接続確認を兼ねて出席確認を行った。
議事進行は、会長校の古田雅憲館長 (西南学院大学図書館) が担当した。

[報告事項]

1. 協会会務報告

会長校 (西南学院大学・山口) が、配付資料 (p. 4~p. 11) のとおり報告した。
例年、一般会計・特別会計の中間決算報告は、協議事項とされていたが、現段階では中間決算であり、来年 4 月に開催される常任幹事会では、正式な決算報告を協議事項として上程するため、今回は、通常の会務報告と中間決算を報告事項として報告することを説明した。

2. 東地区部会会務報告

東地区部会長校 (成蹊大学・濱田) が、配付資料 (p. 12~p. 15) のとおり報告した。

3. 西地区部会会務報告

西地区部会長校 (松山大学・児島) が、配付資料 (p. 16~p. 21) のとおり報告した。

4. 委員会報告

(1) 協会賞審査委員会

会長校 (西南学院大学・山口) が、配付資料 (p. 22) のとおり報告した。

(2) 研究助成委員会

研究助成委員長 (明治学院大学・鈴木) が、配付資料 (p. 22) のとおり報告した。

(3) 国際図書館協力委員会

会長校 (西南学院大学・山口) が、配付資料 (p. 23~p. 24) のとおり報告した。

5. 協会関連事項報告

(1) 国公立大学図書館協力委員会

(2) 国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会

(3) 日本図書館協会

(4) 後援・共催

会長校 (西南学院大学・山口) が、配付資料 (p. 25) のとおり報告した。

6. 2022 年度協会役員校、委員会委員および協会関連団体委員

会長校（西南学院大学・山口）が、配付資料（p. 26～p. 28）のとおり報告した。

7. 2023～2024 年度 委員会委員および協会関連団体委員

会長校（西南学院大学・山口）が、配付資料（p. 29～p. 30）のとおり報告した。

8. 2023 年度行事・会議予定

会長校（西南学院大学・山口）が、配付資料（p. 31）のとおり報告し、次のとおり補足説明した。

- ・2022 年度第 2 回東西合同役員会は、3 月 3 日に Web 会議で開催する予定である。
- ・同日開催予定の西地区部会第 2 回役員会も、Web 会議で開催する予定である。
- ・2023 年度の予定は、次期の会長校や部会長校に相談の上、決めている。
- ・2023 年度第 1 回常任幹事会は、第 2 週の 4 月 14 日に、明治学院大学主催の Web 会議で開催する予定である。
- ・東地区部会第 2 回役員会事務連絡会、第 1 回東西合同役員会、総会・研究大会については、協議事項 3 で、次回の研究大会の開催方法を決定した上で、改めて確認させていただく。
- ・来年度の会議の開催方法は、未定の部分もあり、あくまでも現時点の予定を記載している。

9. 第 83 回（2022 年度）総会・研究大会の報告について

会長校（西南学院大学・山口）が、配付資料（p. 32～p. 34）のとおり報告し、次のとおり補足説明した。

今年の総会・研究大会終了後、会長校が総会・研究大会全般について、また、当番校である追手門学院大学が研究大会の運営および講演内容について実施したアンケート結果の詳細は、別添資料のとおりである。

10. その他

特になし。

[協議事項]

1. 2023 年度事業計画（案）について

次期会長校（明治学院大学・鈴木）が、配付資料（p35～p. 36）に基づき、説明および提案した。協議の結果、提案のとおり承認された。

2. 第 84 回（2023 年度）総会・研究大会について

※議事次第では、3 番目に掲載していたが、議事進行の都合上、2 番目の協議とした。

会長校（西南学院大学・山口）が、配付資料（p. 40）に基づき、当番校である大正大

学が提出した 2 案に関する提案を説明した。

- ・①案 総会が対面で実施される場合、8月30日に東西合同役員会を開催し、31日に総会と意見交換会、9月1日に研究大会を開催する。午前中にオプションで図書館ツアーを実施、午後、記念講演を含む講演3件と、事例報告1件を行う。
- ・②案 総会がメール会議で実施される場合、8月23日に東西合同役員会をオンラインでWeb会議とし、8月24日～31日にメール会議にて総会を開催する、研究大会は、①案と同様、9月1日にオンラインと会場参加の同時開催のハイブリッド開催とする。

協議の結果、第84回総会・研究大会は、②案の総会をメール会議、研究大会をハイブリッド開催することが承認された。

※第84回（2023年度）総会・研究大会の開催方法が決定したことから、報告事項8（資料 p.31）の3項目及び協議事項1（資料 p.35）の2箇所について、①案を削除し、②案の内容へ修正することを説明した。

- i 東地区部会第2回役員会事務連絡会は、8月23日（水）午前、帝京大学が主催してWeb会議を行う。
- ii 第1回東西合同役員会は、8月23日（水）午後、明治学院大学が主催してWeb会議を行う。
- iii 第84回私立大学図書館協会総会は、8月24日（木）～31日（木）にメール会議で実施する。

3. 2023年度一般会計・特別会計予算（案）について

※議事次第では、2番目に掲載していたが、議事進行の都合上、3番目の協議とした。

会長校（西南学院大学・山口）が、配付資料（p.37～p.39）に基づき、説明および提案した。

一般会計の収入については、今まで、雑収入には預金利息の他に、会報の売上金を含めて、10,000円を計上していたが、2017年度から6年間、会報売上で収入に上がった実績は無いため、9,000円を減額した。

支出は、基本的に2022年度予算を踏襲した。災害用の基金は、一般会計から基金への繰り入れが2023年度から開始される。大規模災害が発生した際に、1年分の会費を徴収しなくてもいいように基金を積み立てるため、残り約700万円の繰り入れが必要となるが、一般会計から基金への繰入額は、無理なくスムーズに運用できる金額として、100万円を計上した。2023年度100万円を実施して、状況を見ながら、2024年度以降の繰入額を検討していただきたいと考えている。

第84回（2023年度）総会・研究大会予算は、基本的には第83回（2022年度）の予算を踏襲している。2022年度から総会冊子を廃止したため、資料作成費が減額となるが、今回、初めての会場参加（200名）とオンラインのハイブリッド型で実施であり、会場設

営費などは、コロナ前の対面での金額を参考にしていて予算の見通しが立たないため、一般会計からの開催支援費（収入）は、例年とおりの185万円とした。

協議の結果、すべて提案のとおり承認された。

4. その他

特になし。

[懇談事項]

1. 私立大学図書館協会会則の改正について（総会における委任状の取り扱いの明文化）について

会長校（西南学院大学・山口）が、配付資料（p.41）に基づき、説明ならびに提案した。

- ・慣例として、総会欠席校から委任状の提出を求め、出席校数に算入していることから、実態に合わせて会則を改正し、委任状の取り扱いを明記することが望ましいと判断し、今回の会則改正を提案している。
- ・次回、3月の東西合同役員会で懇談し、正式には、来年4月の常任幹事会、8月の東西合同役員会及び総会に正式上程し、決定したいと考えている。

2. その他

特になし。

以上、すべての議事を終了し、議長が閉会を宣した。

以上